合気道新聞
毎月10日発行
発行所
東京都新宿区若松町17番18号（郵便番号162 0056）
公益財団法人　合気会
（合気道本部道場）
編集人　可児　晋
電　話03（3203）9236（代表）
ＦＡＸ03（3204）8145
購読料
１ヵ年　2,800円
郵便振替
00150－0－49527番
ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

道歌

すみきりし
鋭く光る
御心（みこころ）は
悪魔の巣くふ
すきとてもなし

未来へと

合気道本部道場
道場長　植芝充央

早くも令和２年が終わりに近づいてきました。新型コロナウイルスの感染が騒がれ、感染拡大とともに情報が錯綜し、人々に不安が募り、緊急事態宣言も発出され、今年の２月以降は新型コロナウイルスによって振り回された１年だったように思います。合気会においても、ほとんどの行事が延期または中止となりました。

社会全体が、少しずつ戻りつつあるとはいえ、デジタル化、リモートワークなどがより進み、直接的な人との繋がりは減っていくでしょう。しかしながら、人間は一人では生きていけません。多くの人は周りとの繋がりがないと心が正常に保てなくなります。年齢に関係なく、孤独感を覚えている方は見えないところに多くいらっしゃるのではないでしょうか。

本部道場では、６月１日に２ヶ月ぶりに稽古を再開してから、少しずつ会員の方々が戻って来てくださっています。10月になって久しぶりに合気道を再開された方もいらっしゃいます。やはり久しぶりにお会いすると嬉しいものです。このように本部道場はいつでも戻ってこられる場所であること、戻りたいと思う場所でなければならないと思います。人々の心のよりどころとなり、大切な仲間とともに修業出来る場所であることが大きな役割であると思っています。そして少しでも社会の役に立つこと。これは本部に限らず、道場の大切な役割の一つだと私は思います。

吉祥丸二代道主は「合気道を日常生活に活かすことが大事だ」とおっしゃっていました。新型コロナによって、戸惑い、困惑の中にいるこの世の中にも合気道は必要とされていると私は強く思います。人と人をつなぎ、孤独感を拭い払う。そして稽古することで心身の安定を図る。また、他者を咎めるのではなく、受け入れる。これは我々が普段稽古し、修業している合気道だからこそできることではないでしょうか。決して多くはありませんが、新規に門を叩く方もいらっしゃいます。人を支え、人と人をつなぎ、お互いを認め合えることができるよう、稽古に励んでいきたいと思います。

まだまだコロナ禍の収束は見えてきていませんが、私達は前に進んでいかねばなりません。感染予防を怠ることなく、日々の稽古に励み、今この時の状況を受け入れながら進んでゆくことが必要なことだと思います。稽古に集中し、心身を健全に保ちながら日々過ごしてゆきたいと思っています。今出来ることを、今だからこそ出来ることを着実に、そして未来に繋がるように。

竣工式
田辺市立武道館
植芝盛平記念館

令和２年10月に新しく完成した田辺市立武道館（以下、新武道館）及び植芝盛平記念館竣工式は10月24日に、扇ヶ浜沿いに新設された新武道館正面玄関前広場にて執り行われた。

同時に植芝盛平記念館の名誉館長として植芝守央道主が田辺市より任命され、委嘱状の授与も行われた。

竣工式には田辺市議会議員を始め、建設関係、各武道関係者ら約50名が出席し、合気道関係者として、植芝充央本部道場長（道主の代理）、尾﨑晌全日本合気道連盟理事長、九鬼家隆熊野本宮大社宮司・和歌山県合気道連盟会長らが出席した。

竣工式では開会の挨拶として真砂充敏田辺市長が「田辺市立武道館並びに植芝盛平記念館が関係の皆様のご臨席の下に無事に竣工式を迎えることが出来ました。改めまして、本日を迎えられたことに、関係各位の皆様に心から感謝を申し上げます。旧武道館は昭和46年に当時の国体開催にあたり整備された施設であります。築50年近くが経ち、数年前より３万を超える多くの市民の皆様から建て替えのご要望をいただいておりました。その声に応える形で、様々な検討を重ね、この場所に新武道館を建てることとなりました。この場所の建設に関しましては、田辺市三偉人として武蔵坊弁慶、世界的な博物学者の南方熊楠、そして合気道創始者の植芝盛平がおりますが、ご存じのように弁慶にはゆかりの世界遺産である闘鶏神社、南方熊楠には顕彰館がございます。この２つから大きく離れることのなく、同時にこの２つと中心市街地を囲うようにと考え、更にこの扇ヶ浜は日本夕日100選に選ばれる景勝地でもあることを決め手の１つとして挙げております。また、この新武道館は耐震基準に関しましても十分に満たしており、津波災害時に、沿岸部で方が一逃げ遅れた時には避難所としても利用できるように建築を致しました。

コロナ禍で竣工式の規模縮小を余儀なくされましたが、世の中には小さく生んで大きく育てるという言葉もあるように、本日ご出席の皆様のお力をお借りしながら、新武道館を大きく育てていきたいと思っております」と述べた。続いて来賓として安達克典田辺市議会議長、宮崎泉和歌山県教育長より祝辞が述べられた。

次に植芝道主へ植芝盛平記念館名誉館長の委嘱状授与が行われ、真砂市長より道主の代理で出席された植芝本部道場長に委嘱状が授与された。植芝本部道場長は名誉館長挨拶として「今日を迎えられますのも、真砂市長並びに田辺市の皆様のご尽力によるものと、心より感謝申し上げます。この新武道館建設が、田辺市だけでなく、近隣の地域の武道の普及振興に大きな力となることを確信しております。更に新武道館内に植芝盛平記念館を併設してくださった事は、合気道の道統を継ぐ者として、また孫としても大変嬉しく、名誉なことと感じております。植芝盛平翁の記念館設立は、合気道の修業者にとって長年の望みであり夢でもありました。関係者の皆様に感謝の気持ちで一杯です。この度、植芝盛平記念館の名誉館長にご推挙いただき、大変光栄と思うと同時に今後の更なる武道発展のために尽力させていただきたいとの思いを新たにしました。現在の合気道の広がりを考えると、今後増々、開祖誕生の地である田辺市を大切に、開祖植芝盛平翁が創始した合気道を正しく顕彰していくことが大切だと思っております。この新武道館がこれから世界中の合気道修業者にとって大切な場所になっていくことを願っております。新武道館の竣工を機に、田辺市の増々の発展をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます」と植芝道主の挨拶を代読した。

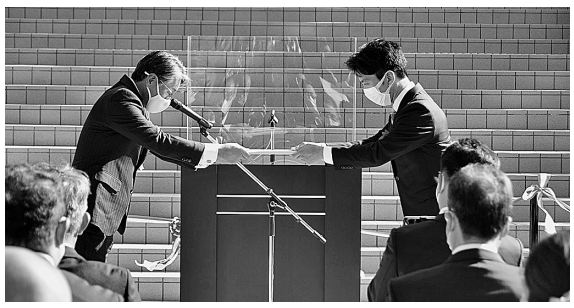
竣工式の締め括りとして代表者によるテープカットが行われた。テープカットには真砂市長、安達議長、宮崎和歌山県教育長、佐武正章田辺市教育委員会教育長、植芝本部道場長、尾﨑全日本合気道連盟理事長が並んだ。万雷の拍手に迎えられたテープカットは、晴天にも恵まれた竣工式の締め括りとして、また新武道館の門出として相応しい盛況な様相を呈した。

竣工式の後には、新武道館と記念館の内覧会が行われ、式の出席者が田辺市の担当職員の案内のもと館内を一巡した。新武道館は３階建てとなっており、２階におよそ550畳のメインアリーナと記念館、会議室や事務室、応接室があり、３階には約100畳のサブアリーナ、車椅子用を含めた約500席の観覧席と太平洋を一望できる屋上広場がある。１階は海に面した扇ヶ浜沿いに建てられたこともあり、津波などの災害対策としてピロティ（横方向の吹き抜け構造）となっている。観覧席は３、４名用のベンチ型の椅子が並んでおり、その木製部分には地産品の田辺杉が使用されている。建設の材木部分にも同様に地産の木材が使われており、地域産業の活性化に繋がっているという。

記念館は開祖が田辺市三偉人の一人として挙げられていることにより、武道館新設に際して併設された。開祖の功績と合気道の普及発展の歴史を紹介する「顕彰・功績ウォール」、開祖の書や遺品などゆかりの品を展示する「翁ゆかりの品展示」、礼や足捌きなどが体験できる「合気道体験映像」、ソファに座りリラックスしながら「気・心・体」をイメージした開祖の写真や書が投影されたスクリーンを眺める「気・心・体サークル」など他にも開祖に関連する書籍が読める等様々なブースやコーナーが設置されている。案内に促され、内覧をする式典参加者は思い思いに記念館を楽しんでいる様子であった。

また10月28日には、報道関係者などに公開され、同日ＮＨＫにて植芝盛平記念館が紹介された。

盛大にテープカット


真砂市長から植芝道主の代理として植芝本部道場長へ名誉館長の委嘱状が授与された

記念館の様子

◇本部道場の年末・年始行事予定◇

12月25日（金）	稽古納め
12月26日（土）	大掃除９：00～12：00
12月31日（木）	越年稽古（検討中です）
〈令和３年〉	
１月６日（水）	稽古始め
１月９日（土）	全国・道場団体連絡会議（14：30～オンラインでの開催） 賀詞交換会（中止致します）
１月10日（日）	鏡開き式（最低限の参加者で実施し、式典の様子をインターネットで中継致します。直会は中止致します）

入身転換

コロナ問題に明け暮れているうちに何時の間にか木々の葉っぱが色づきはじめていた。晩秋を迎えている。

自民党の総裁に選出された菅氏が第99代の総理大臣となった。注目は施政方針演説で２０５０年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすると表明したことだ。昨年の国連の気候変動サミットではＥＵ諸国を含めた77ヵ国がこの表明をしていて２０５０年排出ガスゼロは世界の潮流になっていた。正に遅ればせながらではあるが、日本の優れた環境技術をフル活用し、目的を達成してもらいたい。

気候変動によると思われる自然災害は年々増加の一途である。今までの記録にない超大型ハリケーンや台風、集中豪雨による洪水などが頻繁に生じ、経済的損失は莫大なものとなっている。

温室効果ガスについては中国と米国が巨大な排出国である。中国は自らが被る大気汚染ゆえに国内自動車のＥＶ化を推進するなど排出ガス規制に前向きになっている。問題は米国である。トランプ大統領が排出ガス削減を目指すパリ協定からの離脱を表明し、今月、正式に離脱が実行される。

その米国では大統領選挙が行われた。現職のトランプ大統領と民主党のバイデン候補の熾烈な選挙戦が展開された。激戦が続いていた州の勝敗が11月５日の段階でも決せず、決定までは時間がかかりそうだ。その一因はまだ完全には開票されていない郵便投票である。コロナ騒動で世界一感染者も死者も多い現実が郵便による投票を増大させたようだ。

選挙結果は世界の政治・経済に計り知れない影響をもたらすものであり、固唾をのんで見守るしかない。

（可児　晋）

合気道学校 後期開講式

40名入校

令和2年度合気道学校後期開講式は、10月26日（初級）、27日（上級）、28日（中級）にそれぞれ行われ計40名が入校した。

開講式で植芝充央本部道場長は「担当師範の動きを見て、教えをよく聞き、稽古に励んで頂きたいと思います。また、そのことを日常生活にも活かして頂きたいと考えています」と挨拶を述べた。担当講師の紹介の後、第1回目の稽古に移った。

挨拶する植芝本部道場長

各課程の講師は次の通り。

上級課程＝小林幸光、桂田英路両本部道場指導部師範、中級課程＝鈴木俊雄、小山雄二両指導部師範、初級課程＝金澤威指導部師範、梅津翔本部道場指導部指導員。

合気道学校は、各課程を通じて合気道の実技と理論を身に付けられるよう基礎からカリキュラムに沿って指導される。

それぞれの課程で3月下旬まで38回の稽古が行われ、所定の課程修了者には修了証のほか、規定を満たす資格のある修了者は昇段級審査の上、初級課程は四級、中級課程は二級、上級課程は初段まで授与される。

合気道学校 前期修了式

合気道学校令和2年度前期修了式は、中級課程が10月14日、初級課程10月15日、上級課程が10月16日、それぞれ午後6時半から行われ、植芝充央本部道場長をはじめ各課程の担当師範が列席した。

植芝本部道場長は修了式にあたり「この半年間、皆様は各担当師範の教えをもとに合気道の稽古にしっかりと励んでこられたことと思います。継続は力なりと言いますがさらに合気道の修業を継続され、社会生活をより良いものにし、精進して頂きたいと思います」と激励の挨拶を述べた。

終了証と免状が授与された

各課程の修了者は、上級課程13名、中級課程7名、初級課程5名で、修了者には植芝本部道場長より修了証が手渡された。また、各課程で審査が行われており、合格者には免状が授与された。

秋田 指導者研修会

令和2年度秋田県地域社会合気道指導者研修会は9月26日、27日、秋田県立武道館柔道場で行われた。本部道場からは、森智洋本部道場指導部師範と里舘潤同部指導員が中央講師として派遣された。また、地元講師を松田健一師範（秋田県合気道連盟会長）、北嶋貞好師範（秋田県合気道連盟理事長）が務めた。参加人数は県内加盟団体11団体中、7団体、27名であった。

26日、開会式が行われ、森師範が講師を代表して「コロナウイルス感染拡大に伴い、多くの講習会や指導者研修会が中止となっている中、ここ秋田県で指導者研修会が行われることは、秋田県連盟、秋田県立武道館のご尽力によるものと思います。2日間よろしくお願いします」と挨拶された。

今回の指導者研修会は、コロナウイルスの感染拡大の影響を考え、稽古前の検温、消毒、マスクを着用しての稽古となった。また、密になることを避けるため、例年より少人数での開催となった。

講習会で森師範は、2日間通して単独動作での体の使い方、足捌きや転換法、入身の細かい動きを確認し、呼吸法や入り身投げ、第一教など、基本技を中心に指導された。マスクをしながら稽古をするという慣れない中、行われたが、参加者は、どの時間も真剣に取り組んでいた。

27日の閉会式では、大野正樹一般財団法人秋田県総合公社武道館事務所所長が参加者に「このような状況下の中、研修会が行われたことを嬉しく思います。2日間ありがとうございました」と謝辞を述べた後、参加者に今研修会の修了証の授与が行われた。コロナウイルス感染拡大という状況の中、普段とは違う様子での研修会となったが、安全対策を行ったうえで開催された2日間の研修会は無事に終了した。（本部道場指導部指導員　里舘潤）

富山 指導者研修会

10月17日から18日の2日間に亘り、県営富山武道館において、令和2年度富山県（富山市）地域社会合気道指導者研修会が開催された。中央派遣講師として櫻井寛幸本部道場指導部師範による講習会が4時間、地元講師として島恵司富山合気会師範による講習会が2時間、同じく地元講師として上島政則同会師範による講習会が2時間行われた。3団体20名の参加者はコロナウイルス対策として、マスクを着用しての稽古となった。また、希望者のみ手袋の着用も認められた。

櫻井師範の指導

櫻井師範は2日間にわたり、基本技における「足捌き」、「入身」などの動作をゆっくり丁寧に判りやすく指導された。

島師範は中学校における合気道授業の実践紹介を兼ねた指導をされた。上島師範は基本技を中心に指導された。

コロナウイルスで、開催が危ぶまれたが、参加者は稽古できる喜びをかみしめながら、熱心に取り組んでいた。

今後の行事については状況を見ながら、対策をしっかり行った中での開催になると思われる。（合気道本部道場指導部指導員　桑原将太）

お詫び

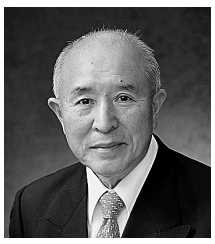
合気道新聞は、10月号・11月号を合併号とさせていただきました。

この場を借りてお詫び申し上げます。

年間購読の方々は、合併号の一ヶ月分は繰り延べさせていただきます。何卒ご理解のほど宜しくお願い致します。

また、次号12月号も1月号と合併号にさせていただきます。発行は1月21日になります。こちらも、ご了承のほど宜しくお願い致します。

コロナ禍における全日本合気道連盟


尾﨑晌理事長

全国各地から紅葉の便りが届く季節になりました。日本の秋がこんなに美しかったのかと思い知らされる日々です。季節は確かな足取りで晩秋から冬に向かっています。

今年1月、中国・武漢で発生した新型コロナウイルスは、2月のクルーズ船ダイアモンドプリンセス号の集団感染により、私たちは新型コロナウイルスの脅威を目の当たりにする事になりました。

3月4日(水)からニュージーランド合気会創立50周年記念大会がオークランド市で開催されました。日本から植芝充央本部道場長をはじめ奈良県合気道連盟・達田育弘師範、愛知県合気道連盟・澤田俊晴師範、大阪府合気道連盟・須磨弘師範、三重県合気道連盟・上埜善生師範、全日本合気道連盟・尾﨑晌理事長、アメリカからリサ・トモリオニ師範が参加し、演武会、講習会を担当しました。国際合気道連盟(IAF)からウイルコ・フリーマン事務総長が駆けつけ、盛大に挙行されました。私たちは3月9日(月)に帰国しましたが、この直後、出入国禁止令が発令されました。そして遂に4月7日、緊急事態宣言が発出されました。世界が新型コロナウイルスの脅威にさらされる事になりました。

全日本合気道連盟は新型コロナウイルスの影響を受けて、各種の行事やイベントが中止になりました。5月16日（土）に高崎市・高崎アリーナで開催予定だった「第58回全日本合気道演武大会」が中止になった為、前日に予定されていた全日本合気道連盟の評議員会、理事会が中止になりました。急遽、書面での報告となりました。時を前後して全日本合気道連盟各団体は評議員会、理事会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響は大きく、中止が相次ぎました。また、幾つかの連盟は濃厚接触を避けながら、万全の体制で会議を実施したとの報告を受けていますが、多くの連盟が書面による決裁でした。

6月20日付けの合気道新聞、第712号に植芝守央道主の「現状の状況下において」の記事が掲載されました。全日本合気道連盟はこれを受け、8月に発行する予定だった機関誌第22号を、6月29日付けで緊急発行に踏み切り、道主の思いを転載発表させていただきました。合気道新聞とは違った形で発信する事により、道主の御心が全日本合気道連盟加盟団体にお伝え出来たと確信しています。

また、緊急事態宣言の中にあって各、都道府県合気道連盟は経済的にも負担が大きいと判断し、年会費の50%相当額の金額をお見舞い金としてお送りする案件に取り組みました。

夏以降、多くの講習会や演武会が中止になりました。新潟県合気道連盟創立30周年記念大会、長崎県合気道連盟創立10周年記念大会などです。

10月に入り、幾つかの連盟からは公共施設の利用が可能になり、充分な注意を払って稽古を再開したとの報告も受けています。また、講習会の実施を検討していると言う話も聞いています。

全日本合気道連盟に加盟する団体及び会員は、道主の御心を鏡として叡智を結集し、新型コロナウイルスに立ち向かって行かなければなりません。（全日本合気道連盟理事長　尾﨑晌）

学生支援オンライン

10月24日、第1回学生支援講習会が合気道本部道場およびオンライン中継を用いて開催された。本講習会は新型コロナウイルスの影響により稽古ができない、制限されている大学合気道部に向けて、少しでも合気道の稽古に触れる環境作る目的として開催される。毎週土曜日、全8回を予定。

第1回は森智洋指導部師範が講習を行った。本部道場には参加者が3名、オンライン中継では約30名の参加があった。講習は12時半より1時間半行われ、体操、受身、転換等の単独動作、相対稽古を想定した単独稽古を行った。

森師範は体操や受身の中で、相手不在の中、自分の体をいかに感じ、いかに使っていくかということを説明しながら、単独動作や稽古法の指導をした。

今回は道場とオンラインという2つの形式を平行して行う形で行われ、昨今の稽古が困難な状況の中での1つ稽古の形を提示した。

「維持会員」へのおさそい

日頃から格別のご理解とご厚意を賜りありがとうございます。

公益財団法人合気会は、開祖植芝盛平翁の創始した合気道の承継を支援し、合気道による心身の錬成と合気道の普及振興を図り、もって体育の発展に寄与することを目的とし、公益事業を行っています。

これからも、その目的を達成するための合気道のより一層の普及発展をはかるため「公益財団法人合気会　定款」にもとづく「維持会員」へのお誘いを致しております。

つきましては賛同頂き、ご後援、ご援助を賜ることができましたら幸甚でございます。なにとぞご高配のほどお願い申し上げます。

記

1、会員種別

（1）賛助会員　この法人の目的に賛同し、事業を援助するために維持会費として年額1口2万円　1口以上を納める個人および法人又は団体

（2）特別会員　この法人の目的に賛同し、この法人を後援維持するために維持会費として年額1口10万円　1口以上を納める個人および法人又は団体

2、維持会員の特典

（1）合気会で主催する演武大会等の行事にご招待を申し上げます。

（2）合気会で発行する合気道新聞、合気道探求などの出版物を贈呈いたします。

お申し込みは（公財）合気会事務局まで

武道功労者並びに武道優良団体表彰

武道の9団体と（公財）日本武道館で組織されている日本武道協議会による、令和元年武道功労者並びに武道優良団体が表彰された。

これは長年にわたり全国又は地域において武道の普及、振興に寄与した個人と団体を対象にするもので、合気道では武道功労者として五味田聖二田辺道場長、武道優良団体として静岡県合気道連盟が表彰された。

本来ならば日本武道館の鏡開き式の表彰が、オリンピックの改修工事のため延期。10月の世界武道祭で行う予定であった。しかしそれもコロナ禍のために、郵送にて表彰されるものになったものである。

田辺道場
五味田聖二

この度、武道功労賞の栄に浴し、誠にありがたく、ご推挙賜りました合気道道主植芝守央先生に感謝申し上げます。

昭和28年に開祖植芝盛平大先生にご指導いただいてから65年、昨日のごとく思い出されます。

今回のこの受賞を一層の励みとし、合気道の発展の為に頑張りたいと思います。

田辺市では中学校の体育授業において武道が必修化されたことに伴い、田辺市教育委員会で合気道の導入に取り組んでおり、今は6校の学校で実施しております。

海外から年間400人以上の道友達がお墓参りに来られて、帰りに田辺道場で稽古しております。大先生の厳しい指導のお陰で皆様と稽古を共に出来ることは光栄に思います。田辺市では、植芝盛平翁を名誉市民として、翁の遺業と功績を後世に伝えていく為、植芝盛平翁記念武道館が完成しました。より多くの方に翁先生の事を知って頂ければ幸いです。

「合気道は無限に向かって進歩している」

開祖植芝盛平大先生、吉祥丸二代道主、守央現道主に亘ってお仕えでき、私にとって無上の喜びであります。ありがとうございます。

静岡県合気道連盟
理事長　**石原克博**

この度、道主先生のご推挙により武道優良団体を拝受致しました事を、身に余る光栄に存じ静岡県連に携わりご支援頂いた皆様方に深く感謝を致し、御礼を申し上げる次第でございます。コロナ禍で先の見えない昨今で疲弊した世の中に於いての受賞が静岡県合気道愛好家にとりましてどれだけ勇気を与えて頂いたか計りしれません。ある意味、強く記憶に残る県連の慶事だとも思います。

県連役員が講習会等を立案計画しても参加者がいなければその行事は成り立ちません。その様な意味でもこの度の受賞は県連各理事の皆様はもちろんの事、各行事にご参加ご協力頂いた県連加盟団体会員の皆様へのご褒美だと認識しております。そしてこの度の栄誉ある受賞を関係者の皆様と感動を共有致したく、コロナ禍ではありますがその手段を今模索中であります。

静岡県合気道連盟はまだまだ未熟な組織です。関係者及び県連理事、加盟団体会員のご支援ご協力をお願いし、この度の受賞を期に確固たる組織に成長するべく県連理事一同努力を惜しまないつもりでおります。県連の役目は日々の稽古を大切にしている加盟団体の運営及び、技の向上等々の手助けを行う事も大切だと考えております。その為にも合気会本部、全日本合気道連盟、そして全国の合気道関係者の皆様の益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げる次第です。又、静岡県合気道連盟が斯道発展の一隅を照らす存在になる事を目標とし、活動して行く事がこの度の受賞の恩返しと考えます。

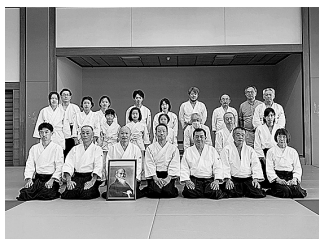
最後にこの度の栄誉ある受賞に恥じる事がなき様、県連の団結と友好の更なる高みを目指し、役員一同努力を致す事をお誓い申し上げる所存でございます。

新潟で演武大会

第44回新潟合気道演武大会（主催＝新潟合気会）ならびに講習会は、10月3日、新潟市鳥屋野総合体育館にて桂田英路本部道場指導部師範を招いて開催されました。

大会は例年2日間で実施する本イベントを1日にし、コロナ対策を行いながら開催する運びとなりました。

参加は新潟合気会加盟団体に限定し、参加者には2週間前から検温をしてもらうなど、感染防止に努めました。



新潟大会の参加者たち

講習会では桂田師範から、体幹の力を腕・相手に繋げることを中心に指導していただきました。

非接触な稽古をいかにして接触稽古に活かすかなど、こんな時期でなければできないこともあり、これからの稽古に活かせるものになりました。

参加者は、久しぶりの本部師範の講習を堪能することができました。

演武会は、例年より少ない人数ですが、老若男女がいつものとおり、一生懸命自分の演武をおこない、桂田師範の演武で締めていただきました。

最後に、このご時世に師範を派遣してくださった本部道場を始め、開催にご尽力頂いた皆様に御礼申し上げます。（新潟合気会事務局長　玉木駿佑）

津でも演武大会

津市民体育大会として「第9回合気道演武大会」が9月27日（日）に、午後1時から午後4時まで津市産業・スポーツセンター（サオリーナ）三重武道館で開催されました。

例年は、三重県合気道連盟と共催で開催しておりましたが、今年度は新型コロナウイルス蔓延に伴い、三重県としての大規模な行事は中止し、三重県には後援になっていただき、津市合気道連盟が中心となって開催しました。

演武者は一般、学生を合わせ約50名で最初にこどもたちの演武を行い、次に一般者の演武を行いました。最後は各道場の代表者による演武を行い、津市合気道連盟会長の杉田憲司師範による模範演武を披露しました。

今回はコロナ禍で会社から演武大会への参加は自粛するよう要請があった方もあり、参加者は例年より少なかったですが、津市合気道連盟では、津市スポーツ協会が作成したコロナ対策よりも厳格なマニュアルを作り、演武大会を迎えました。そして、合気道は体術が中心でありますが、濃厚接触にならないよう、あえて体術でなく、杖や剣を用いた演目を全員で披露しました。演武大会では、日頃の稽古の成果を発表することができ、「with合気道」、新しい形の大会になったと思います。このような時期でも諦めることなく合気道の輪を広げてまいります。

十勝で講習会

8月22日、23の両日、本部道場指導部伊藤眞師範をお招きして、十勝講習会を開催致しました。

小学生を対象にした講習は、受け身の稽古からスタートしました。普段の教え方に苦慮している前回り受け身の練習法などを教えていただきました。

つづいて技の稽古へ移り、腕の使い方を中心に体を大きく使うことなどを学びました。子供達が大きく腕を振る姿を見て、もっとのびのび合気道をさせたいと思う稽古時間となりました。

社会人を中心とした一般の稽古では、片手取り技の中で、相手との接点の作り方や力の伝え方から講習が始まりました。接点を通じた相手の動かし方・誘導の仕方について、段階を踏んで丁寧に教えていただきました。また、2日間の中で4名の段審査も行われ、コロナの状況下で準備してきた会員が、一生懸命受験する姿も見られました。

今回は、コロナの影響で決めていた日程を一度は延期し、いろいろ悩んだ中での開催となりました。しかし、終えた時には、合気道のすばらしさを再認識することとなり、例年にも増して有意義な講習会となりました。（十勝合気会合気道代表　佐藤圭）

合気会 オンラインでＩＡＦ調整会議

10月1日（木）、（公財）合気会と国際合気道連盟（ＩＡＦ）は、ＩＡＦのこれからの活動についての調整会議をオンライン会議システム「Ｚｏｏｍ」を使用して行った。

参加者は植芝守央道主、（公財）合気会から植芝充央本部道場長、林典夫常務理事、金澤威総務部長、谷正喜国際部副部長、神谷正一国際部副部長代理、伊藤眞国際部員。ＩＡＦからは井澤敬理事長、ウィルコ・フリースマン事務総長、ドリン・マルチス理事。

会議は植芝本部道場長が議長となり進行し、新型コロナウイルスの影響下における合気道のより一層の普及振興のための方策が話し合われたほか、ＩＡＦの活動や今後のＩＡＦの機能についての調整が行われた。

染宮宏氏（ＩＡＦ元事務総長）9月11日逝去。享年87。
山田陽也氏（合気道八起会師範）10月26日逝去。享年80。

開祖の言葉

吾々は六根ばかり頼ってはいけない。仏教では六根清浄などというが、六根というものは、この顕界において、この明るい世界を眺めるために肉体にそなえたものである。

しかし物質の世界をみるにつけても、やはり六根の道をきれいに掃除しておかなければならない。つまったら雑音だけ入ってくる。雑音が流れ込んでくると、六根はことごとく悪い方に走ってしまう。

つまり世を乱すことになる。この世を乱すことが一番罪悪になる。心を磨いて、本当に六根の働きを融通の変えやすいように、つまりいう魂の道を明らかにしておいたらよい。そうすると六根は光となって、表にあらわれてくる。六根が光を放ってくるというと、やることが、皆、魂の比礼振りということになってくる。己が物を生み出すようになる。外からのことも、内からのことも相交流していけることになる。外のことは、皆、己のことということが、はっきり解ってくる。

六根を清め愛の大精神へ

それで合気道なんか、ことに稽古のおりに、固く固定していないからして、丁度いうなればこういうことになる。

日月は
合気になりし橋の上
大海原は山彦の道

また、宇宙の響きのなかの空に生み出していく、五十音、七十五声の音の響きの中に技は生まれてくる。

つまりいうと、空に生み出して行くところの考えを持って、稽古に精進してもらいたい。丁度いうと吾々の大御親、愛の大精神は、最初〝ス〟ごえができたというておりますが、すなわち

日の御親
ななそいつつ（七十五）
を生み出して

合気の道を教えたまえり

このことは、ことごとく、ななそいつつ(七十五)をもって技が生み出てくるのであるが、この自己の造化器官は自由に世の中のご経綸の営みにご奉公できる。これは、この己というものを先きに知ったならば、すべての物が解ってくる。すなわち己というものは全宇宙の全てのものがあるから、己というものが存在する。これらは私一人でできるものではない。全宇宙があればこそできるのである。この境地と己の関係を知らないといけない。

人というものは、造化器官であることを知り、全宇宙と己とは同じものであるということを知らなくてはいけない。この宇宙の子として、宗教家でいうならば神の御子としての務めを、この世の中に充分つくさなければいけない。それはすべて世の中を乱さんようにするためでもある。それですべての物を護って行かなければいけない。これは必ず行わなくてはいけない。そして万類万象を生かして行かなくてはならない。

この合気道は精神と、精神の方と、つまり全宇宙のおおきな生命であるところの営みの道、ご経綸の姿、すなわち大は宇宙の生命より、小は禽獣虫魚に至るまでのものも、そのことを得さしめる道であり、それを明示する道である。

物事を、己の立場からみたら、まず、人々は、昔、私の家族であると感ずる、己の行はこの家族に教えるものではなく、皆におこなうものである。そうして行って、すべての人々を護り、あらゆる物を護って行かなくてはならぬと考えている。

各道場の昇段者

令和２年８月15日～
令和２年10月14日
（公財）合気会登録

【四段】
◆本部道場＝鈴木英悟◆青森道場＝山口輝◆谷神会＝新地麻奈美、田端伸一郎◆東京合気道秀和会＝西山千裕◆合気道広島会＝山本竜男、片山徹◆荒川合気会＝井戸田正徳◆合気道千葉千種道場＝R.Chadorkafuri◆祥平塾＝迫田亮太◆大阪武育会＝長田昌大◆奈良合気会＝内野悦規◆京都近江合気会＝小田隆雄◆明治神宮至誠館＝目黒大輔◆神武塾＝髙垣博一◆松江道場＝川上修平◆真庭合氣会＝落合秀予◆啓翔会＝渡邊喜一◆熊野塾＝C.Felipe◆U.S.A.　＝C.Schober、H.Farrington、S.Ozic、N.Porter、M.Dubcovsky、H.Pfuhl◆COLOMBIA＝J.Morante、Z.Garcia、J.Meneses◆IRAN＝R.Noori、M.Honarvar◆FRANCE＝C.Contoz、J.Savinel、N.Aleksanderek、P.Monfouga、P.Guerin◆RUSSIA＝P.Tschelkonogov、A.Vekhter、A.Vasilyev、R.Vakhitov、A.Ivashkin、D.Dubovik◆ITALY＝M.Scarin、F.Alessandrini◆SWITZERLAND＝T.Kopiejc、G.Vona◆BRAZIL＝M.Serpe、R.Brasil、F.Neto、F.Guimaraes、J.Amaral、B.Pereira◆HUNGARY＝S.Pal、B.Edit、M.Zoltan◆UKRAINE＝A.Kim、O.Arabskyi◆MOROCCO＝E.Chaouket、N.Cheddad◆TURKMENISTAN＝S.Bayliyev◆SPAIN＝I.Chicharro◆韓国＝金永坤、嚴昌植

【参段】
◆本部道場＝長昭彦◆Ａ＆Ｐ合氣道大関道場＝小林順二◆合気道凱風館＝中島隆博、三杉圭子、永松小夜子、光嶋裕介、松下昌裕、大松多永、山﨑智美◆合気道藤流館＝加藤勝幸◆合気道武徳道場＝大谷一之◆谷神会＝平川満◆熊野塾＝S.David、T.Lionel◆群馬合気会＝江原昭弘◆月窓寺道場＝勝見公紀◆東広島合気会＝伊藤英利◆荒川合気会＝高谷真咲◆祥平塾＝細越真由美◆関道場＝城木栄◆大阪合気会＝藤井紀人、村上恵美、平田香、橋本昌也◆奈良合気会＝奥田千晶◆合気道南大沢尾又道場＝柳田達也◆清心館道場＝宮﨑尚泉◆丹波道友会福知山道場＝小松宥之◆十勝合気会合気道＝池上博樹◆新川塾＝渡邊重人◆合氣道誠武館＝大峯啓之◆焼津合気会＝鈴木秀一◆U.S.A.　＝F.Monari、R.Sexauer、R.Roemer、S.Fleming、M.Roberts、D.WilliamsJr.　、L.Mizuba、R.Yamada、E.Kim、T.Wilder、M.Naquet、Z.Laventhol◆AUSTRIA＝M.Oitner◆COLOMBIA＝C.Gama◆IRAN＝A.Shahsavarani、A.Malek、S.Mirmohammadi◆ECUADOR＝E.Alvarez、J.Calle◆PERU＝J.Delgado◆ARGENTINA＝S.Nucci、G.Soula、A.Alvarez、F.Russo◆FRANCE＝X.Gremion、J.Savinel、A.Gonzalez、V.Lopez、P.Guerin◆RUSSIA＝P.Koshel、I.Tclaf、V.Tabachkova、M.Kirpichnikov、E.Ivashkina、D.Muzhev、V.Pavlenko、G.Burmistrov、V.Grishin、A.Kakotkin、Y.Golubnichiy、A.Efremov◆韓国＝李虩縞、金寶覽、李明鍾、李淳吉、朴素希、宋元永、任鍾源、金周歡、申澈◆ITALY＝N.Regnier、A.Viterisi、F.Panero、P.Anselmo、A.Mastrantoni◆POLAND＝M.Sobolska、W.Holubowski◆VENEZUELA＝J.Mujica、J.Nava◆SWITZERLAND＝F.Borgeaud◆BRAZIL＝T.Gutierrez◆SLOVAK＝R.Suska、P.Marko◆PANAMA＝M.Cheves◆SPAIN＝M.Moyano、A.Martinez、J.Rodriguez、J.Rubio、J.Alamo◆MOROCCO＝C.Warit、M.Arnoun、A.Ouali、A.Yousr、N.Ahouat、A.Arab、K.Atrach◆GERMANY＝T.Schoenherr、S.Henseler◆HUNGARY＝H.Jozsef、L.Balazs◆MEXICO＝G.Moreno

【弐段】
◆本部道場＝E.Pindur◆合気道瀧田塾＝山本湧也、加藤章◆合気道西大和会＝板井景治◆合気道凱風館＝林美帆、東條隆、古川昌代、柴田佐津代、瀧本美古◆谷神会＝山元則男◆熊野塾＝L.Stephane、A.Aleksandr、L.Joan、S.Jacobo、M.Oliver、J.Matias、R.Philippe、R.Alejandro、A.Osvaldo◆合気道広島会＝保手濱和基、髙畑武祥◆東広島合気会＝岩谷健一、吉田亮◆米子合気会＝田原康一◆合心館谷本会＝髙岡勝、沖正典、矢野智一◆祥平塾＝原田廉、ウィズナント・ペリー、大塚愛美、井原里香◆加古川合気会＝松本富美恵、森本義明◆城南合気会＝中田幸子、シュリンガー・スイグフリード◆関道場＝小田部裕子、荻田英明◆大阪武育会＝有塚満喜、木村真裕美◆奈良合気会＝桑江亜弥、稲葉由華◆文京区合気会＝西村仁志、坂本朝、髙橋亨◆清心館道場＝臼井佐喜子◆信州合気道クラブ＝高橋由美子◆丹波道友会福知山道場＝清水義正、綱辰也◆十勝合気会合気道＝L.Elaine、長谷川清峰◆合気道高城道場＝下村理、P.Kirwin◆合気道和心会＝相田進、相田大、鵜飼康史◆新川塾＝伊藤益義◆合気道大阪研究会＝空田大輔、東道裕、福山志津◆明治大学体育会合気道部＝山崎泰◆RUSSIA＝D.Kochergin、D.Zhukov、I.Ishutchenko、A.Shashkov、I.Gonchar、J.Derjavina、M.Zolotavin、V.Klimovskaia、R.Omarov、K.Palkin、U.Peredina、V.Tananin、T.Milovidova◆ITALY＝E.Cantagalli、D.Sieni、A.Sieni、A.Stradi、F.Argenti、C.Iannettone、R.Scotto、C.Bason、M.Cesari、C.Carini、G.Dono◆COLOMBIA＝R.Mendez、A.Lopez、G.Padilla、H.Zambrano◆IRAN＝A.Mahmoodi◆ARGENTINA＝S.Luna、P.Olmos、P.Verta、D.Bill、J.Mansilla、S.Leiva、G.Uranga、N.Tagariello、F.Leziero◆FRANCE＝E.Espinasse、X.Gremion、J.Savinel、V.Lopez、L.Briot、P.Guerin◆INDONESIA＝I.Solihin、Hadiwijaya、A.Putra、P.Firdausy、L.Mukti◆U.S.A.　＝K.Harvey、P.Bird、J.Anderson、C.Garrett、S.Balan、E.Fetzer◆韓国＝梁誠桓、安甲在、S.Pollock、李善兒、鄭美淑、黃喆守、趙允渉、金東漢、白承京、金秀玟、白智淏、池昌賢、秋淵福、金寶覽、崔寅浩、金江珉、朴泰俊、權五亨、崔殷碩◆POLAND＝J.Zieba、M.Zieba、D.Leszczynski◆SWITZERLAND＝G.Maier◆BELGIUM＝P.Ponzi、S.Limina◆UKRAINE＝O.Karpenko、V.Kryzhanovskiy、A.Zherlitsyn、O.Zhuravel◆SLOVAK＝P.Natafalusi、J.Socha◆SPAIN＝M.Navas、E.Castellanos、M.Navas◆MOROCCO＝Y.Kaitouni、A.Tadili、K.Azzouzi、F.Sounni、Y.Yousfi、K.Benhadia、L.Msally、A.Lamtoukar◆GERMANY＝I.Garate◆HUNGARY＝B.Ferenc、K.Patrik、H.Zoltan、K.Robert、T.Gergo、S.Karoly、S.Gabor、L.Tamas、K.Ferenc、H.Gabor◆VENEZUELA＝J.Carreno、J.Teran◆IRAN＝M.Rasaeyan、M.Rasaeyan、M.Rasaeyan、M.Tadayonkhah、 S.Mehmandoust、M.Hakimifard◆MEXICO＝R.Sierra、O.Peralta、F.Salas、I.Soto、E.Zatarain、J.Mendoza、I.Arreguin◆CANADA＝D.Lamb、D.Vandekraats

【初段】
◆本部道場＝代田数正、 S.Giralt、大川剛、安澤一成、M.Zlobin◆Ａ＆Ｐ合氣道田口道場＝齊藤進◆合気道瀧田塾＝山口侑希◆作心館道場＝矢田義典、井上あまね◆合気道西大和会＝梶山紗世、鹿島佑斗、川原慈、藤井世名◆合気道近江近江合気館本道場＝西居かおり、斉藤宏次、田中宏樹、野々村昇◆合気道奥州道場＝菅原美羽、小原駿◆東京合気道秀和会＝匹田梢真◆熊野塾＝J.Nicolas、R.Julien、S.Stefan、B.Raphael、F.Aude、M.Julien、H.Achim、C.Yannick、O.Zhanna、C.Daniel◆群馬合気会＝城田次代、高橋裕之◆月窓寺道場＝髙木梓◆高松合気会＝伊達瞳◆合心館谷本会＝岡本匠哉、星川光輝、木村智子、L.Ambrosin、L.Marcello、寺西由夏◆渋谷区合気道同好会＝直井智子、直井昭治◆合気道石芯塾＝吉川徳昭、髙橋陽子、佐藤美奈子、菊川貴行、小松大起◆祥平塾＝古賀太陽、中川郷志、井川一浩、森野晃介、橋崎知、中田猛◆加古川合気会＝五十嵐直子、西村智絵◆神都久保道場＝坂口隆志、田中藍◆関道場＝小田部莉捺、堀井将吾、森田誠、関澤隆志、木下明◆川越道場＝島田満寿実◆大阪合気会＝新田海音、新田陸斗、上田亜希子、長尾秀郎、菰田有加◆大阪武育会＝村田昂大、内田茉依、鈴木沙弥、香月咲音、大橋ほなみ、佐野茜、川本倖穂、赤澤光、大森翼◆合気道天正会＝吉田雄大◆吾勝会＝加藤東佳◆天心道場＝勢健一郎◆合気道浦和尾又道場＝竹本有紗◆奈良合気会＝照屋亜見、芝口光一、石田祥子◆文京区合気会＝白倉哲夫◆明治神宮至誠館＝B.Mcewen◆岩出道場＝具志強◆神武塾＝髙尾昌樹◆合気道南大沢尾又道場＝竹内美佳子◆清心館道場＝山本舜、内田徹、佐伯亮◆三菱養和会武道スクール合気道塾＝関根茂◆丹波道友会福知山道場＝吉見政義◆守清館＝今井悠輔◆悠歩塾＝佐藤宏一◆宮崎合気道会＝飛佐由子◆十勝合気会合気道＝髙田聖治◆河北道場＝箱木文太◆合気道和心会＝中川陽尋、國澤祐美子、小谷隆幸、上田典生◆四箇郷道場＝松尾麗香◆平井道場＝佐倉慶一◆倉吉合気会＝穐近亮士、田中篤志◆紀州熊野合気会＝J.Rodes◆菊水道場＝佐藤万里奈◆あいきのまなびや＝尾﨑絵俚◆高取国際高等学校＝岡野愛来、松本友香、西川華織、窪田瑞輝◆土浦日本大学高等学校＝廣木夏葵、今井理奈子、坂入啓太、坂川大地◆東北高等学校＝金原柊、橋本典知、堀西太一◆駒場学園高等学校＝藤井大智、芳澤湧楽、加藤彩花、金子龍之介、菊池綾真、向山啓太、渡邊千星、中司薫乃◆昭和第一学園高等学校＝川邉翔太◆兵庫県立東播磨高等学校＝竹下蘭、片山朋香、竹村迪瑠、重信恵里、三上真歩◆帝塚山大学＝成山由佳◆桃山学院大学＝杉田義暢◆福岡大学＝長尾一輝◆和歌山大学＝三岩巧、本山翔梧、吉田大気、戸田和希、山本悠統、西田雄剛、小林亜美◆RUSSIA＝D.Tereschenko、O.Vorobei、O.Agafonova、I.Novikova、A.Pavlov、L.Dolotov、G.Mironov、P.Nozhkin、V.Pavlov、A.Martynov、B.Ibragimov、 A.Abdrakhmanov、 D.Bazeev、D.Schultz、A.Isaeva、E.Ivanova、D.Kuznetsov、E.Kuznetsov、M.Roman、D.Miller、D.Ivanov、L.Piskunova、 O.Denisenko、 S.Sokolenko、D.Suvorov、M.Musinov、A.Kharchenko、I.Ivkov◆ISRAEL＝D.Assouline◆U.S.A.　＝C.Olive、M.Gomes、S.Stith、A.Techritz、H.Miller、A.Avkhadiev、E.Coker、S.Steinbach、M.Mahelong◆IRAN＝H.Moghaddampour、D.Seif、M.Ghasemabad◆ECUADOR＝P.Medina、M.Maza、M.Troya、J.Paladines、J.Parilli◆BRAZIL＝C.Oliveira、 貴嶋長太郎、W.Maia、R.Costa◆ARGENTINA＝R.Cruz、M.Lezcano、M.Bravo、D.Baccino、S.Canari、D.Centurion、I.Gostuski、P.Sayago、H.Sosa、F.Steinbauer、A.Tommasone◆FRANCE＝J.Savinel、V.Lopez、L.Briot、A.Guillot、M.Guillot、F.Vuillequez、T.Aalten、P.Guerin◆INDONESIA＝A.Helmy、A.Maulana、A.Kumoro、Armen、D.Yanto、D.Febrian、F.Gunawan、F.Tjee、G.Prakoso、H.Nuradji、M.Nurjaman、N.Hanif、RDarmawan、R.Ismail、Safaruddin、S.Limanto、Yanuarizki◆MALAYSIA＝M.Pham◆韓国＝李世勳、金東鉉、高樹泓、金庚煥、玄昌憲、康志宇、朴禮恩、趙顯日、李承旻、崔孝根、宋相鉉、韓世熙、朴焌盛、李昡庚、朴正敏、金熙喆、張鐘錫、李和溫、白惠理、李在雨◆POLAND＝M.Garbacki、A.Gomez、P.Ciesielska、J.Matusiak、N.Janik、M.Kantek、P.Matuk、A.Janczuk、A.Nguyen、M.Harazim◆SWITZERLAND＝M.Schifferle、 E.Craighero、L.Champagnac◆BELGIUM＝M.Driss◆HUNGARY＝E.Istvan、K.Peter、N.Timea、T.Gabor、H.Daniel、P.Daniel◆SLOVAK＝J.Pal、D.Sochova◆ITALY＝E.Moroni、R.Tiezzi、R.Barsocchi、I.Flower◆MOROCCO＝D.Ennaya、Y.Benyamina、A.Berkashi、M.Younsi、M.Alibzar、A.Malih、 S.Berrada、 O.Sandoudi、A.Fanity、A.Toufali、M.Achaiba、I.Nouiga、L.Abdelwahd◆GERMANY＝A.Punt、D.Seker◆SPAIN＝F.Pacurar、A.Duenas、J.Morales、F.Rodriguez、O.Corbella◆VENEZUELA＝E.Anzola、M.Urbina、C.Perez◆MEXICO＝R.Chavez、A.Victoria、A.Ruiz、L.Jimeno、S.Gonzalez◆CANADA＝R.Plaxton、佐藤須美、T.Machin、V.Chau、J.Klymak、J.Dub